

FINANCIAL REPORT 2015

FINANCIAL REPORT 2015

財務報告書

H26事業年度(2014年4月1日～2015年3月31日)



神戸大学

Contents

ごあいさつ	2
神戸大学の紹介	4
2015年3月期の決算状況	
■ 貸借対照表の概要	6
■ 損益計算書の概要	8
■ 外部資金	10
■ 附属病院	12
■ 附属学校	14
資料	
■ 国立大学法人の会計制度	16
■ 貸借対照表	18
■ 損益計算書	20
■ キャッシュ・フロー計算書	22
■ 国立大学法人等業務実施コスト計算書	23
■ 附属病院・附属学校セグメント情報	24
■ 決算報告書	25
■ 外部資金等の獲得状況	26



神戸大学の使命

神戸大学は、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成します。



神戸大学は、明治35年に我が国で2番目に設置された高等商業学校である神戸高等商業学校を前身とし、昭和24年に兵庫県下の旧制官立学校が一体となり新制大学として設置されました。

現在まで110余年の歴史と伝統を有し、11学部、14大学院研究科、法学と経営学の2専門職大学院、研究環、研究所、附属病院、教育研究府さらには多くの研究センターを擁し、人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命・医学系にわたる、多様な教育研究分野を包括する総合大学となっております。

本学は、開学以来、国際都市神戸の開放的で国際性に富む固有の文化の下、「学理と実際の調和」という理念を掲げ、これまで人類が積み重ねてきた多様な学問分野における知的資産を継承するとともに、普遍的価値を持つ知の発見と創造に務め、さらには、教育を通じてそれらを次世代へ伝達していくことを使命として発展してまいりました。

現代のグローバル社会では、環境汚染、災害、貧困など、地球的規模での解決が必要な問題＝グローバル・イシューがいくつも生じています。これらの問題を解決するには、文理を超え、分野をまたいだ知恵が必要です。私はそこに本学の文理融合の力が発揮できると考えています。

これらの問題解決と使命を果たしていくため、本学は2015(平成27)年4月、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」という新たなビジョンを掲げました。ここに謳われているように、神戸大学はさまざまな融合、連携の力で世界最高水準の教育研究を行ってまいります。

この「FINANCIAL REPORT 2015」は、平成26年度決算を踏まえ、本学を支えてくださる国民の皆様、学生・企業の皆様、附属病院を利用いただいている皆様など多くの方々に本学の状況を主に財務面を通してご理解いただきますことを目的として作成しました。

国立大学法人を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、挑戦を続ける神戸大学に対し、引き続き温かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

神戸大学長
武田 廣



このたび神戸大学は、平成26年度決算を無事終え、文部科学大臣の承認を得ました。

本学では、2015(平成27)年4月、「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」という新たなビジョンを掲げました。ここに謳われているように、神戸大学はさまざまな融合、連携の力で世界最高水準の教育研究を行ってまいります。

具体的に平成26年度は、「大学改革プラン」における改革加速期間の中核年度でもあることから、中期計画期間全体を見通し、学長のリーダーシップ向上に資するべく、重点施策を推し進める「第2期中期計画事業経費」、「ビジョン推進経費」、「学長戦略経費」、教育研究基盤の充実再生を図る「設備更新費」等への予算措置など、行動計画達成のための予算編成を行うとともに、予算の効率的な執行の観点から基盤的経費の繰越制度を導入するなど、戦略的、機動的な予算編成・執行体制の構築に努めてまいりました。

一方、国立大学法人の教育研究活動を支える基盤的な財源である運営費交付金は大学改革促進係数により毎年減額され、国立大学法人を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、本学では附属病院収入などの自己収入の確保や競争的資金などの外部資金の獲得を積極的に行うとともに、コスト削減に向けてのプロジェクトを強力に推進するなど、日々、財務内容の改善に向けた取り組みを実施しております。

今回お届けします「FINANCIAL REPORT 2015」は、このように神戸大学がこれまで取り組んできました活動を財務的な視点からお伝えすることを目的に、見やすくわかりやすい紙面づくりに心がけました。

本学を支えていただいております皆様に、私どものこれまでの取り組みをご理解いただくとともに、今後とも引き続き益々のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

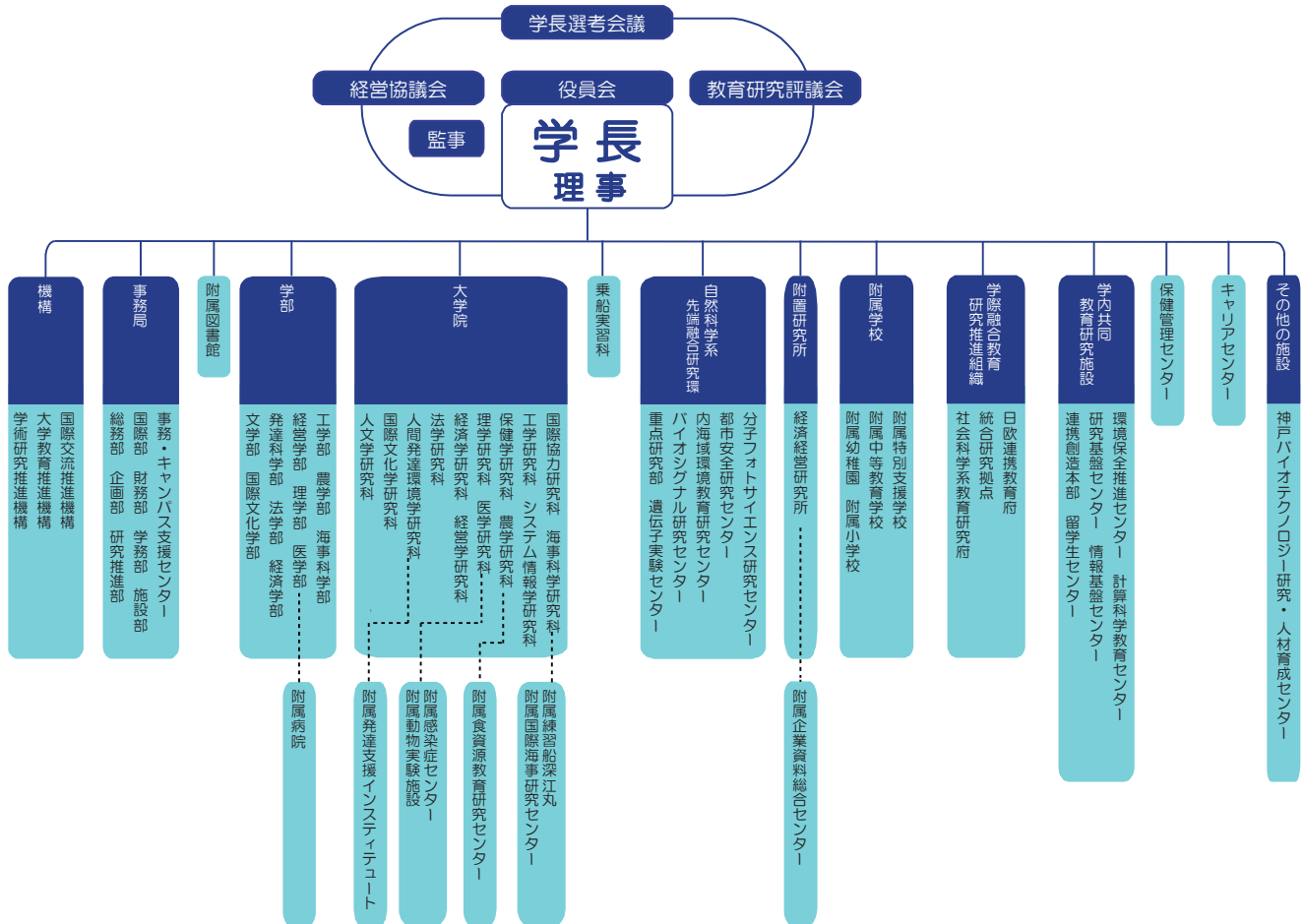
神戸大学理事（財務担当）

吉 井 一 雄

神戸大学の紹介

■ 組織図

神戸大学には、11学部14研究科の他に、附置研究所や附属病院、附属学校など下記のような組織があります。



▲正門



▲六甲台第2キャンパス
(文・理・農学部)



▲兼松記念館



かんていどう
▲武道場(艱貞堂)



▲附属病院

■神戸大学ビジョン —先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ—

神戸大学は、「学理と実際の調和」を理念とし、進取と自由の精神がみなぎる学府である。この伝統を発展させ、様々な連携・融合の力を最大限に発揮する卓越研究大学として世界最高水準の教育研究拠点を構築し、現代及び未来社会の課題を解決するための新たな価値の創造に挑戦し続ける。

具体的には、社会科学分野・理系分野双方に強みを有する伝統と特色を生かし、文系・理系という枠にとらわれない先端研究を推進し、他大学・研究機関とも連携して、新たな学術領域を開拓・展開する。同時に、学部と大学院のつながりを強化し、先端研究の臨場感のなかで学生が創造性と学識を深めることを重視する。また、海外中核大学と共同研究や連携教育の重層的な交流を図り、世界各地から優秀な人材が集まり、世界へ飛び出していくハブ・キャンパスとしての機能を飛躍的に高める。これらの教育研究を社会と協働して推進し、先端的技術の開発と社会実装の促進を通じて人類に貢献するとともに、地球的諸課題を解決するために先導的役割を担う人材を輩出する。

以上の教育研究における様々な連携・融合を高い次元で同時に実現するために、個と組織の調和を図る環境整備と組織改革を行い、神戸大学全構成員の力を結集して学術の新境地を切り拓く。

■所在地



- ① 六甲台地区
 - 人文学研究科・文学部
 - 国際文化学研究所・国際文化学部
 - 人間発達環境学研究所・発達科学部
 - 法学研究科・法学部
 - 経済学研究科・経済学部
 - 経営学研究科・経営学部
 - 理学研究科・理学部
 - 工学研究科・工学部
 - システム情報学研究所
 - 農学研究科・農学部
 - 国際協力研究科

- ② 楠地区
 - 医学研究科・医学部(医学科)
 - 附属病院

- ③ 名谷地区
 - 保健学研究科・医学部(保健学科)

- ④ 深江地区
 - 海事科学研究科・海事科学部

- その他の地区
- ⑤ 農学研究科附属食資源教育研究センター
 - ⑥ 神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター
 - ⑦ 統合研究拠点
 - ⑧ 住吉地区附属学校
 - ⑨ 明石地区附属学校
 - ⑩ 附属特別支援学校



▲保健学研究科・医学部(保健学科)



▲海事科学研究科・海事科学部



▲附属特別支援学校

貸借対照表の概要

■建物・構築物

□先端膜工学研究拠点棟

平成27年3月に先端膜工学研究拠点施設が設立されました。本研究拠点施設では、先端膜工学センターをはじめ、建築学系、市民工学系、電気電子工学系、機械工学系および応用化学系の「先端膜工学」に関する研究が、各方面から集中的に実施されます。

このような多角的研究の相乗効果により、日本に類を見ない「先端膜工学」に関する世界的研究拠点として、神戸の地において、世界先導型の教育と研究を推進します。



▲先端膜工学研究拠点棟

□海洋実習施設

平成26年11月に海洋実習施設の改修が完了しました。当施設は宿泊機能を備えており、教職員・学生の海事に関する教育・研究、実習および課外活動などに活用されています。



▲海洋実習施設

■図書

国立大学法人が教育・研究活動を行ううえで基礎となるものです。時の経過や使用により価値が減少するものではなく、永続的に教育・研究活動に資する重要な財産であるため、資産として計上しています。平成26年度の蔵書数は約374万冊となり、平成16年度末と比べると約37万冊増加しました。



▲社会科学系図書館 大閲覧室



▲社会科学系図書館 書架

(単位：億円)

資産	
土地	835.2
建物	667.1
構築物	36.3
機械装置・工具器具備品	157.2
図書	220.4
建設仮勘定	11.3
投資有価証券	27.3
その他固定資産	11.8
現金及び預金	78.3
未収入金	64.4
有価証券	25.0
その他流動資産	6.0
資産合計	2,140.4

■建設仮勘定

建設仮勘定とは、建設中の建物などが完成するまでに支払った工事代などについて、いったん資産に仮計上しておくための仮の勘定科目です。工事が完了した時点で、建物などの勘定科目へ振り替えます。



<建設中>建設仮勘定にて仮計上



<完成>本来の勘定科目へ振り替え

■ 寄附金債務

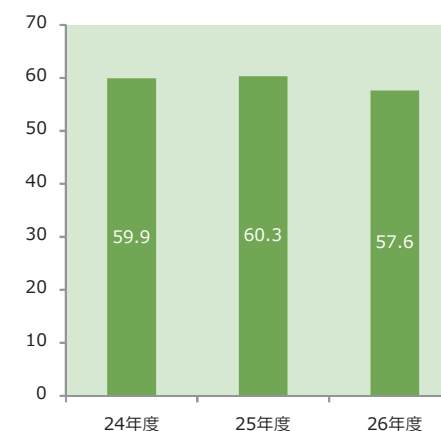
寄附金債務とは、次年度へ繰り越して使用する寄附金の残高です。寄附金は、受け入れたときに寄附金債務としていったん負債計上し、経費の使用に応じて収益へ振り替えます。平成26年度の寄附金債務の残高は57.6億円で、平成25年度と比べると約2.7億円の減少となりました。

平成26年度には、寄附金を使用して、フローサイトメーター（細胞分析装置）などの機器の購入や、附属中等教育学校の部室新営工事などを行いました。



▲フローサイトメーター

(億円) 寄附金債務の推移



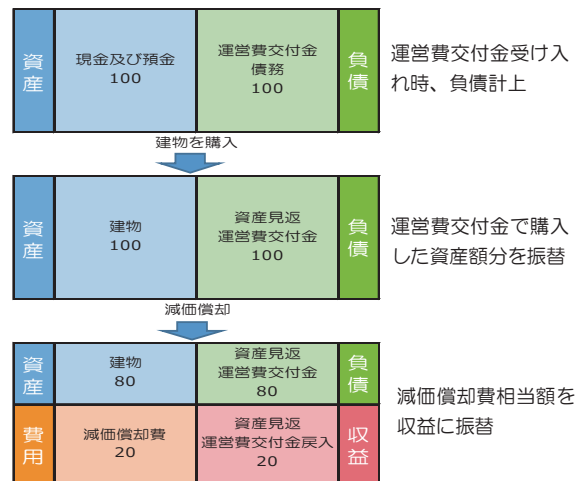
(単位：億円)

負債	
資産見返負債	332.2
寄附金債務	57.6
債務負担金・長期借入金	251.0
未払金	146.5
その他負債	42.5
負債合計	829.8
純資産	
資本金	1,217.7
資本剰余金	55.7
目的積立金	0.3
積立金	45.1
当期末処理損失	▲ 8.2
純資産合計	1,310.6
負債・純資産合計	2,140.4

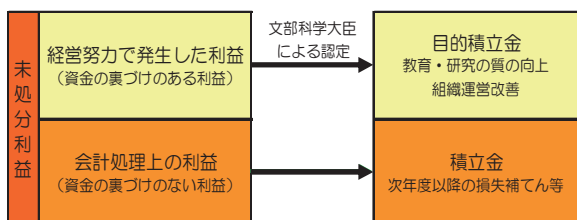
■ 資産見返負債

運営費交付金・授業料・寄附金・補助金等の財源で固定資産を取得した場合、負債に計上される勘定科目です。固定資産の減価償却に伴って資産見返負債は資産見返負債戻入という収益に振替えられ、これらの処理により資産・負債、収益・費用が均衡します。

例) 運営費交付金100を受け入れ、期中で建物100を購入した場合



■ 目的積立金と積立金について



未処分利益のうち、経営努力により生じた利益であると文部科学大臣の認定を受けたものについては、目的積立金として中期計画で定められた使途の範囲内において次年度以降、教育・研究の質の向上、組織運営改善のために使用することができます。

平成26年度には目的積立金を使用して、弓道場の改修などを行いました。



▲弓道場

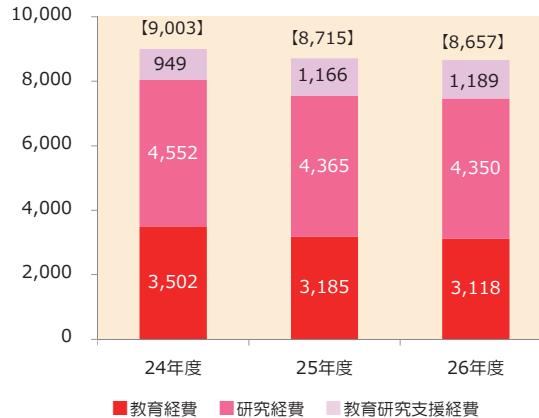
損益計算書の概要

■教育研究経費

教育と研究は大学の中心的活動です。平成24年度は大規模な改修工事に伴う修繕費等の支出があったため、教育研究経費が増加しておりましたが、平成26年度は改修工事が終了したため、平成24年度と比較し、約3億円の減少となりました。

(※) 教育研究支援経費とは、図書館、情報基盤センターなど特定学部等に所属せず大学全体の教育・研究双方を支援する施設で、学生や教員等が利用するための運営経費です。

(百万円) 教育研究経費の推移

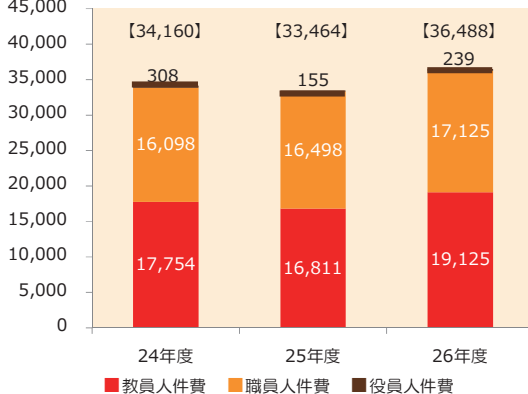


■人件費

国立大学法人において、人材は重要な資産であり、経常費用の大部分を占めています。平成26年度は、給与の臨時特例措置(※)等が終了したため、増加となりました。

(※) 厳しい国の財政事情及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、国家公務員の人件費を平成24年4月～平成26年3月まで2年間削減する特例措置。

(百万円) 人件費の推移



(単位：億円)

費用	
教育研究経費	86.6
診療経費	206.6
受託研究費等	36.7
人件費	364.9
一般管理費	19.5
その他	3.9
経常費用合計	718.1
臨時損失	0.8
当期総損失	▲ 8.2
計	710.7

■コスト削減活動

神戸大学は「ビジョン2015」に掲げる“卓越した大学経営”の一環として、全学的に「神戸大学コスト削減プロジェクト」を推進しています。

昨年度はコスト削減の活動をさらに広げるため、「第1回コスト削減取組プレゼン大会」を開催しました。各部署で行っているコスト削減活動を、神戸大学中が注目するプレゼン大会で紹介することで、良い取り組みを他の部署にも広げる機会となりました。

また、ステッカーを作成し、職員や学生に対して、コスト削減への啓発活動に努めております。今後も活動をさらに広げ、さらなるコスト削減に取り組んで参ります。



▲コスト削減取組プレゼン大会ポスター



▲コスト削減ステッカー

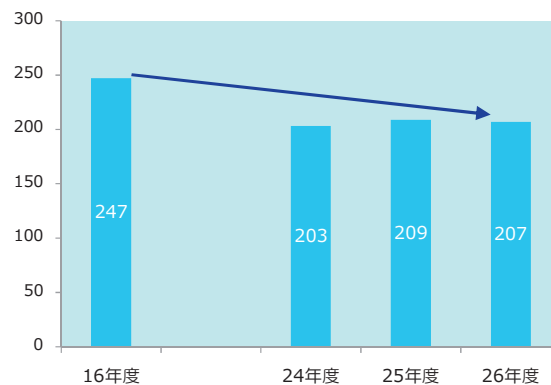
■運営費交付金

大学の業務運営の基礎的財源として、国から運営費交付金が措置されています。現下の厳しい国の財政事情から、運営費交付金の交付額は年々減少しており、大学の財政は厳しい状況にあります。これを補うため、外部資金の獲得やコスト削減を強力に展開することで財源確保に努めています。

(※)25・26年度は復興関連事業等の特別運営費交付金が増えたこと等により、24年度より運営費交付金収入は増加しています。

平成16年度比
運営費交付金 40億円減少(約16%)

(億円) 運営費交付金の推移



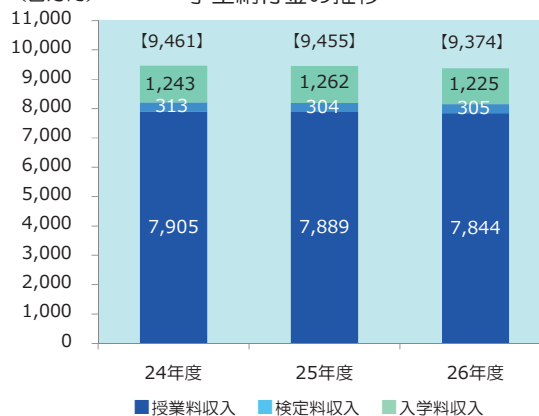
※運営費交付金の推移は各年度の受入額を示しており、収益額とは異なります。

(単位：億円)

収 益	
運営費交付金収益	209.6
学生納付金収益	99.5
附属病院収益	295.3
外部資金収益	72.8
資産見返負債戻入	17.7
その他	14.4
経常収益合計	709.2
臨時利益	1.1
目的積立金取崩額	0.3
計	710.7

■学生納付金の状況

(百万円) 学生納付金の推移



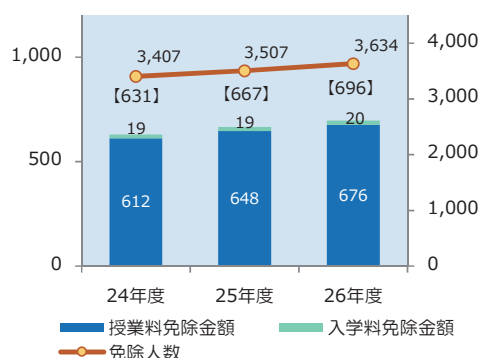
※学生納付金の推移は各年度の受入額を示しており、収益額とは異なります。

平成26年度の授業料・入学料・検定料といった学生納付金の収入額は約94億円となりました。学生納付金はやや減少の傾向にあり、平成24年度と比べると約9千万円の減少となりました。

□入学料・授業料の免除

教育格差を縮小させるため、経済的理由から入学料又は授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀であると認められる学生に対して、入学料又は授業料の全額もしくは半額を免除する制度があります。

(百万円) 入学料・授業料免除の推移 (人)



※免除人数には入学料免除者と授業料免除者を含んでおります。

■その他収益

大学施設の開放による財産貸付料収益や「神戸大学ブランド」による農場収益、資金運用による財務収益など、自己収入の増加への取り組みも積極的に行っています。



▲神戸大学ビーフ

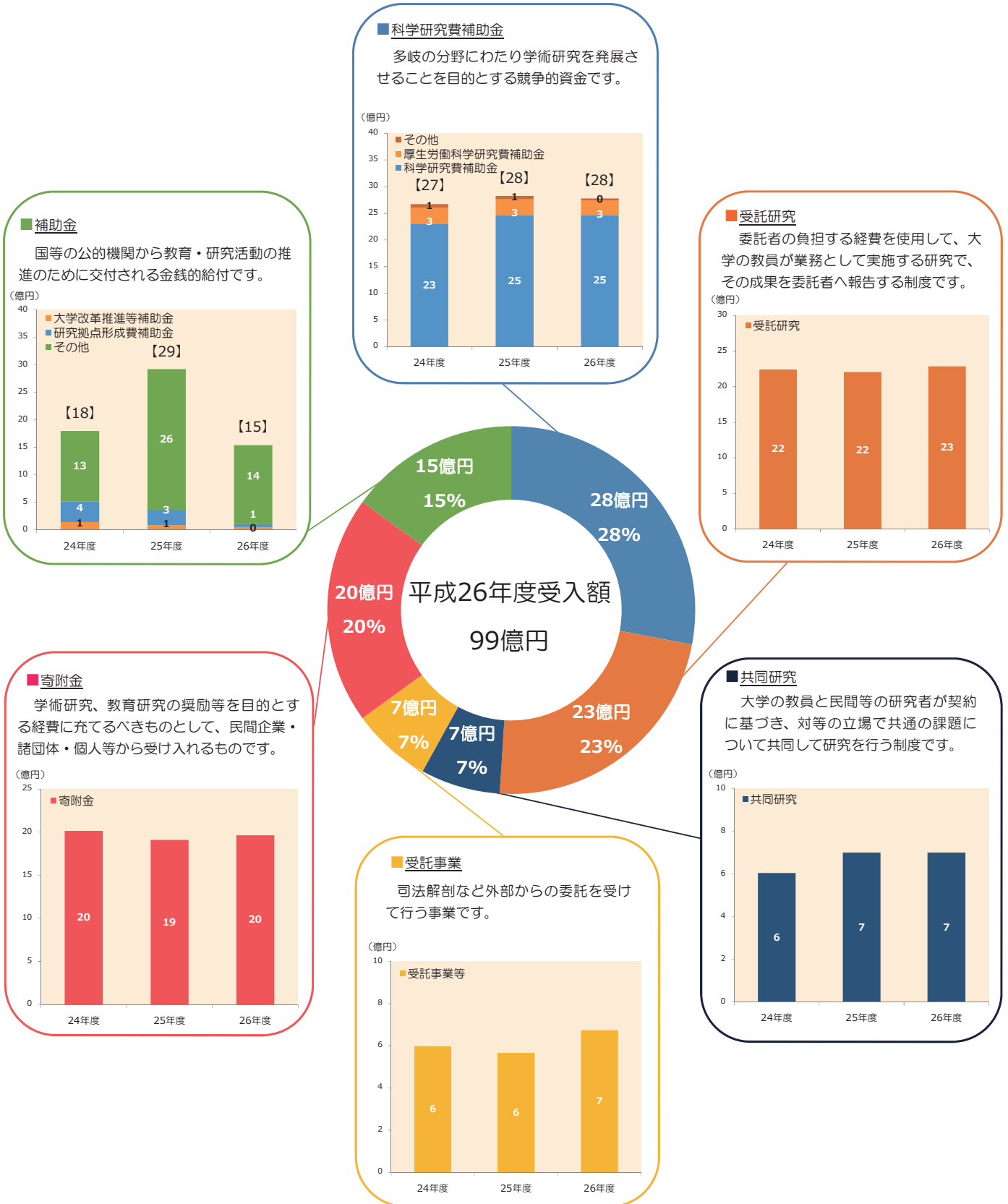


▲神戸大学の梨

外部資金

外部資金の受入額

国立大学の法人化以降、運営費交付金は大学改革促進係数により毎年減額されているため、受託研究や共同研究、寄附金などの外部資金の重要性がより高まっています。





平成18年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの皆様のご支援を賜り、様々な分野において活用させていただいております。

□ 使途指定基金

寄附講座の設置、冠奨学金の設立、課外活動団体OBからの使途指定寄附など、寄附者のご意志による使途指定事業へのご寄附です。

平成26年度 使途指定基金

寄附受入額	5億6,929万円
支援実績額	5億6,470万円
基金残高増減額	459万円

活用事業例

■ 鷲の葉奨学金

兵庫県下公立高等学校を卒業した学部新1年生への奨学金

■ 寄附講座

ご寄附いただいた目的に応じて、客員教授や客員准教授によって教育研究が行われます。給与や研究費などは、ご寄附いただいた寄附金により賄われます。

※この他にも、寄附目的に応じて、様々な事業に活用させていただいております。

□ 一般（基盤事業）基金

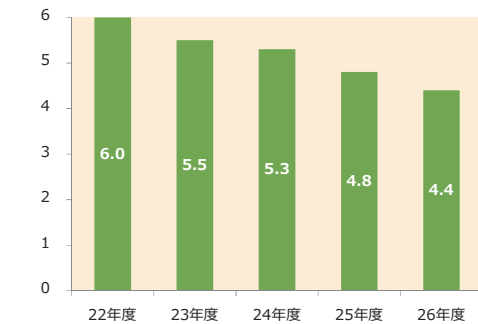
学生支援を中心とした多彩な活動を継続的に支援していく基盤事業へのご寄附です。

基盤事業の残高は年々減少しており厳しい状況です。今後もこの基盤事業を継続・発展させていくため、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

平成26年度 一般（基盤事業）基金

寄附受入額	3,153万円
支援実績額	7,880万円
基金残高増減額	▲4,427万円

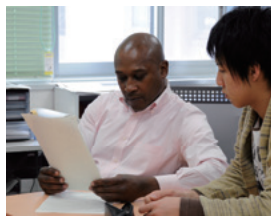
一般（基盤事業）基金残高の推移
(億円)



活用事業例

国際化対応 2.5百万円

- 海外留学・研修への派遣支援
【利用者数 146名/年間】
-協定校等への海外派遣助成
-一部企画プログラム
(留学・研修・海外ボランティア等)
-大学院学生国際学会等派遣事業
- アカデミック・ランゲージ&コミュニケーションサポートへの助成
(英語論文校正・学会発表指導等)
【利用者数 延べ905名/年間】
- 海外からの優秀な留学生の受入
【支給者数 延べ10名/年間】



▲アカデミック・ランゲージ&コミュニケーションサポート指導風景

神戸大学基金奨学金 2.6百万円

- 「神戸大学基金」緊急奨学金 【支給者数 12名/年間】
- 「神戸大学基金」奨学金（学部新1年生） 【支給者数 63名/年間】

東京地区におけるプレゼンス向上活動支援 5百万円

- 神戸大学東京オフィスの運営
- シンポジウム「神戸大学のミリオク」開催



▲神戸大学東京オフィス

課外活動の支援 6百万円 (ボランティア活動含む)

- 課外活動支援 団体/個人
【35件支援/年間】
- 東日本震災関連ボランティア活動支援
【被災地派遣学生数 111名/年間】
-被災地へのボランティアバス派遣



▲ボランティア活動

施設・環境整備

- グラウンドの人工芝化
平成27年4月、エレコム株式会社からの物納によるご寄附により鶴甲第1キャンパスに「神戸大学エレコムグラウンド」が完成しました。人工芝化のためにいただいたご寄附は、今後の環境整備及び更新に備えた資金等として活用させていただきます。



▲神戸大学エレコムグラウンド

※各分野への拠出金額は概算です。

附属病院

■附属病院セグメント情報

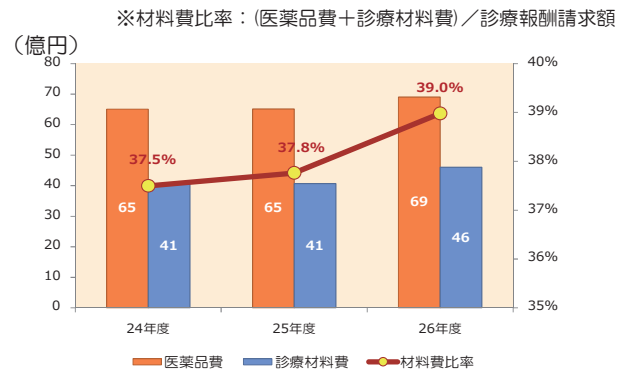
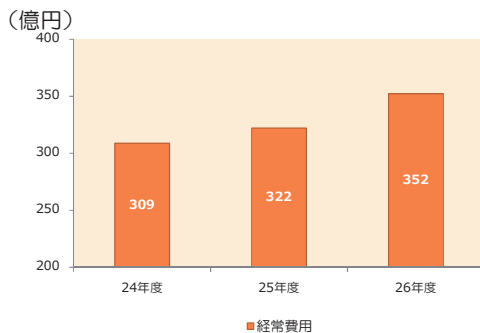


- 入院病床数 **934 床**
 - 臓器別診療科 **36 診療科**
- (平成27年3月末時点)

(単位：億円)

費用	
教育研究経費	2.3
診療経費	206.6
受託研究費等	7.7
人件費	128.9
一般管理費	3.5
その他	3.4
業務費用合計	352.4
業務損益	▲ 10.5
計	341.9

■経常費用の推移



手術件数の大幅増加等に伴う高額な医療材料の使用量が増加したことに加えて、中央診療棟（低侵襲総合診療棟）の新規稼働に伴う減価償却費や関連費用の増加および人事院勧告等による人件費の増加により、経常費用が昨年度比9.4%の増加となりました。

附属病院収益が昨年度比約15億円の増加となりましたが、上記要因による経常費用が昨年度比約30億円増加したため、附属病院セグメント全体の業務損益としては約10億円の損失となりました。

■附属病院におけるさまざまな取り組みについて

・災害派遣用車両（DMATカー）の整備

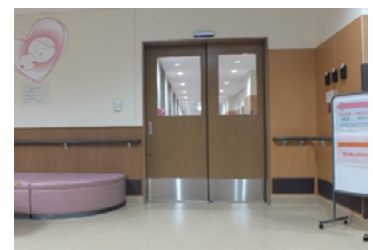
兵庫県の予算的支援を受け、災害派遣医療チームが災害時に使用するための車両を整備しました。被災地における医療活動を行う隊員や資機材の運搬のほか、ドクターカーとして利用することによる負傷者の搬送にも活躍が期待されます。



▲災害派遣用車両（DMATカー）

・総合周産期母子医療センターの整備

平成26年12月より母体・胎児集中治療室（MFICU）の運用を開始し、平成27年4月には総合周産期母子医療センターに認定されました。合併症を持つ妊婦や最重症の新生児ケアを行うことができる医療施設として地域の周産期医療への更なる貢献を目指しています。

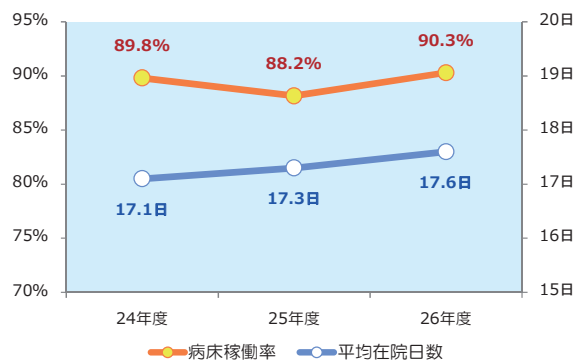


▲総合周産期母子医療センター

(単位：億円)

収 益	
運営費交付金収益	31.3
附属病院収益	295.3
外部資金収益	11.3
資産見返負債戻入	2.8
その他	1.3
業務収益合計	341.9
計	341.9

■病床稼働率と平均在院日数の推移



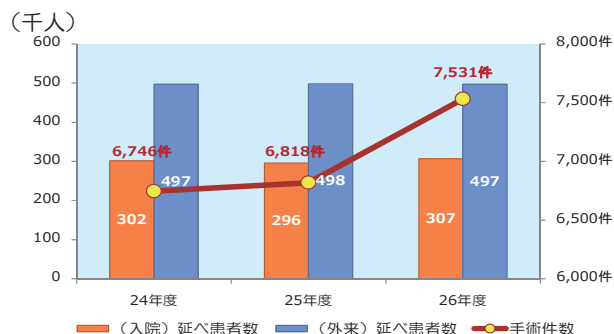
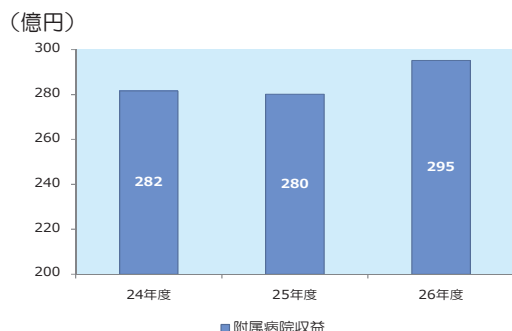
※病床稼働率：病床(ベッド)がどれだけ利用されているかを示す指標

年間入院延べ患者数 / (病床数 × 診療日数 (365))

※平均在院日数：入院患者が病院で過ごす平均の日数

年間在院患者数 / ((年間新入院患者数 + 年間退院患者数) × 0.5)

■附属病院収益の推移



通院治療室の治療用ベッド数の増床やりニアック(放射線治療装置)増設の影響等に加えて、入院患者数が昨年度に対して約1万人増加したこと及び手術件数が大幅に増加したこと等により、附属病院収益が昨年度比5.4%の大幅増加となりました。

・手術室の拡張および増室

昨年度から引き続き行われた改修工事により、手術室が13室から17室に増室されました。また新たに設置された透視装置と手術室を統合したハイブリッド手術室では、内科的治療と外科手術による治療を一室で行うことができることから、より体に負担の少ない治療が可能となりました。さらに高磁場3テスラMRI装置を手術エリアに設置することにより、術前・術中・術後のMRI撮影を迅速に行うことができ、より正確に手術が実施できるようになりました。手術室に最新鋭の設備を設置することにより、今後、さらに地域の中核病院として地域医療に貢献していきます。



▲ハイブリッド手術室



▲3テスラMRI装置

附属学校

■附属学校セグメント情報

神戸大学附属学校園は、神戸大学の理念である「真摯・自由・協同」の精神に基づき、社会を創造する知性を持ち、国際感覚にあふれた人材の育成をねらいとした教育を行い、心豊かな人づくりの推進に寄与することを基本理念としています。現在、附属幼稚園、附属小学校、附属中等教育学校、附属特別支援学校を設置しており、附属学校を有する全ての国立大学に先駆けて、平成21年度より大規模な附属学校の再編を開始しました。



(単位：百万円)

費用		収益	
教育研究経費	337.5	運営費交付金収益	1,391.2
人件費	1,239.1	学生納付金収益	66.0
一般管理費	5.4	外部資金収益	81.0
その他	5.0	その他	52.8
業務費用合計	1,587.0	業務収益合計	1,590.9
業務損益	3.9		
計	1,590.9	計	1,590.9

■附属学校再編計画

- 人類社会に貢献する人間性豊かな指導的人材を育成する教育革新に挑戦する。
- 幼少期から大学院までの各段階において、これからの国際社会のモデルとなる初等・中等・高等教育の革新を実現する。これらの目的を達成するために、附属学校再編が段階的に進行しています。

発達科学部附属学校園
(再編前)

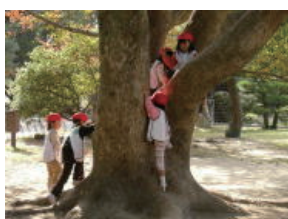
区分	学級数
附属幼稚園	5
附属住吉小学校	21
附属明石小学校	12
附属住吉中学校	12
附属明石中学校	9
附属特別支援学校	9

神戸大学附属学校園
(平成27年5月1日現在)

区分	学級数
附属幼稚園	6
附属小学校	12
附属中等教育学校 (中高一貫教育)	28
附属特別支援学校	8

神戸大学附属学校園
(平成32年度再編完了)

区分	学級数
【明石地区】	
附属幼稚園	6
附属小学校	12
【住吉地区】	
附属中等教育学校 (中高一貫教育)	18
【大久保地区】	
附属特別支援学校	9



▲附属幼稚園



▲附属小学校



▲附属中等教育学校



▲附属特別支援学校

【 資 料 】

国立大学法人の会計制度	16
貸借対照表	18
損益計算書	20
キャッシュ・フロー計算書	22
国立大学法人等業務実施コスト計算書	23
附属病院・附属学校セグメント情報	24
決算報告書	25
外部資金等の獲得状況	26



国立大学法人の会計制度

国立大学法人の会計制度は、企業会計原則に準拠しつつ、公共性、非独立採算性を前提に、国立大学法人が中期計画に基づき通常の運営を行った場合は、「損益均衡」となるような仕組みを基本に構成されています。

■ 運営費交付金・授業料

A 損益が均衡する場合



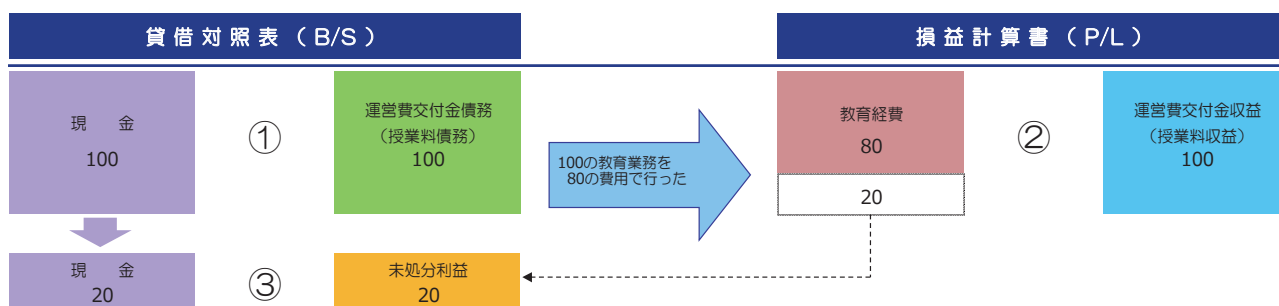
- ① 運営費交付金や授業料を受け入れた場合、負債に計上します。(運営費交付金債務・授業料債務)
- ② 100の教育業務を行った場合、費用は教育経費100を計上し、収益は費用の額に関わらず、全額運営費交付金収益(授業料収益)100を計上します。(※)

※運営費交付金債務や授業料債務は、原則として業務の進行が期間の進行に対応するものとみなして収益計上を行います(「期間進行基準」)。他に「業務達成基準」と「費用進行基準」があります。【下記参照】

◆ 運営費交付金債務の収益化基準

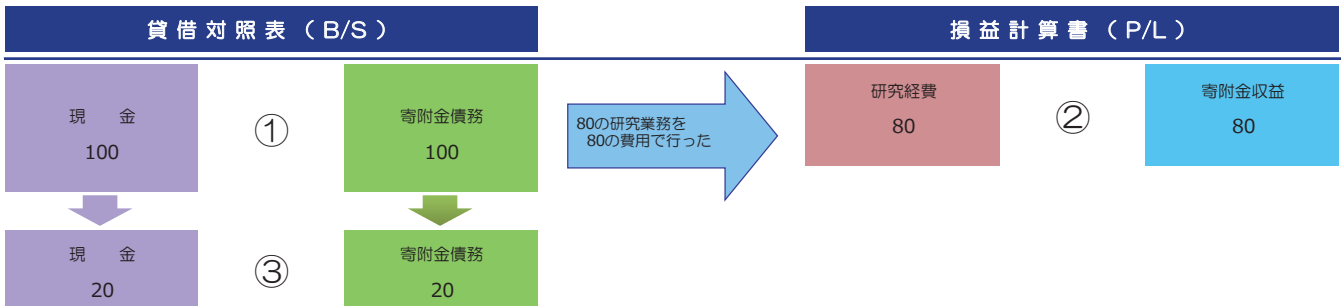
期間進行基準：時の経過に伴い業務が実施されたとみなして、交付金債務を収益化する基準(原則)
 業務達成基準：業務の実施に伴い交付金債務を収益化する基準(例)プロジェクト研究等
 費用進行基準：費用発生額と同額の業務が実施されたとみなして交付金債務を収益化する基準(例)退職給付金等

B 利益が生じる場合



- ① 運営費交付金や授業料を受け入れた場合、負債に計上します。(運営費交付金債務・授業料債務)
- ② 教育業務を完了したが、費用が80であった場合、費用は教育経費80を計上し、収益は費用の額に関わらず、全額運営費交付金収益(授業料収益)100を計上します。
- ③ 現金が20残ります。利益が20発生し、当期末処分利益となります。

■ 寄附金



- ① 寄附金を受け入れた場合、負債に計上します。(寄附金債務)
- ② 研究業務を80の費用で行った場合、費用相当額の寄附金収益80を計上します。(※)
- ③ 現金が20残り、寄附金債務も20残ります。費用化されずに残った部分は寄附金債務のまま留保されます。

※寄附金は、費用と同額の寄附金債務を収益へ振り替え、損益が均衡します。

■ 減価償却処理の特色

国立大学法人が保有する資産の減価償却は、当該資産の取得資金によって、次の3つに分けられます。

区分	資産取得時		損益計算書 (P/L)	貸借対照表 (B/S)
①取得資金が、国立大学法人が自ら獲得した自己収入による場合	固定資産 100	収益 100	(1年目) 減価償却費 20	固定資産 80
		20の減価償却を行った	利益 80	当期末処分利益 80
②取得資金が、運営費交付金や授業料、寄附金等の財源による場合	固定資産 100	資産見返負債 100	(2年目以降) 減価償却費 20	固定資産 80
		20の減価償却を行った	損失 20	資産見返負債 80
③取得資金が、出資者である国からの措置による場合	固定資産 100	資本剰余金 100	減価償却費 20	固定資産 80
		20の減価償却を行った	損益に影響を与えることなく、固定資産及び資本剰余金を減額	資本剰余金 80

・資産の減価償却処理は、損益上の費用として認識します。
 ・減価償却費に対応する収益を期間ごとに計上しないため、資金の裏付けのない帳簿上の利益や損失が発生します。

・資産取得時に資産見返負債勘定を計上
 ・資産の減価償却処理は、費用として計上しますが、同額の収益(資産見返負債戻入)を計上し、損益の均衡を図ります。

・固定資産が20ずつ減少するとともに、毎年当期末処分利益が△20発生

・資産の減価償却処理は、損益上の費用として認識しません。

■ 図書

通常の償却資産は、取得価額50万円以上のものが資産計上の対象ですが、教育研究のために使用する図書は、金額の如何に関わらず資産計上します。使用中は減価償却処理を行わず、除却時に全額を費用処理します。

貸借対照表

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
資産の部				
I 固定資産	179,241	192,175	196,666	4,491
1 有形固定資産	176,932	189,569	193,569	4,000
土地	83,375	83,549	83,525	△ 25
減損損失累計額	△ 4	-	-	-
建物	94,279	102,613	111,135	8,522
減価償却累計額	△ 36,697	△ 40,243	△ 44,422	△ 4,179
減損損失累計額	△ 48	△ 1	△ 1	△ 0
構築物	5,251	5,596	5,898	302
減価償却累計額	△ 1,870	△ 2,063	△ 2,266	△ 203
機械装置	729	703	517	△ 187
減価償却累計額	△ 624	△ 595	△ 406	189
工具器具備品	32,127	40,425	44,740	4,315
減価償却累計額	△ 23,399	△ 25,453	△ 29,133	△ 3,680
図書	21,803	21,933	22,037	104
美術品・収蔵品	725	725	754	28
船舶	405	439	445	6
減価償却累計額	△ 398	△ 402	△ 408	△ 6
車両運搬具	56	65	78	13
減価償却累計額	△ 51	△ 53	△ 50	2
建設仮勘定	1,274	2,329	1,126	△ 1,202
2 無形固定資産	289	358	350	△ 7
特許権	39	50	66	16
ソフトウェア	111	168	149	△ 19
著作権	51	51	51	0
電話加入権	1	1	1	-
産業財産権仮勘定	86	87	83	△ 5
3 投資その他の資産	2,020	2,249	2,747	498
投資有価証券	2,010	2,227	2,732	505
長期貸付金	5	5	4	△ 1
貸倒引当金	△ 1	△ 1	△ 0	1
長期前払費用	2	1	1	1
長期未収入金	69	78	66	△ 13
徴収不能引当金	△ 69	△ 78	△ 66	13
差入敷金・保証金	3	17	10	△ 7
出資金	0	0	0	-
預託金	0	0	0	0
II 流動資産	17,736	22,797	17,376	△ 5,421
現金及び預金	9,205	9,437	7,833	△ 1,604
未収学生納付金収入	109	93	119	26
徴収不能引当金(未収学生納付金収入)	△ 1	△ 1	△ 0	0
未収附属病院収入	5,207	5,502	5,655	153
徴収不能引当金(未収附属病院収入)	△ 14	△ 18	△ 10	8
その他未収入金	522	946	678	△ 268
未収還付消費税等	16	20	-	△ 20
有価証券	2,000	6,100	2,500	△ 3,600
たな卸資産	27	30	26	△ 4
医薬品及び診療材料	629	622	529	△ 93
前渡金	9	27	2	△ 25
前払費用	19	20	24	4
未収収益	5	13	11	△ 2
貸付金	1	1	1	0
立替金	2	5	8	3
その他流動資産	-	0	-	△ 0
資産合計	196,977	214,972	214,042	△ 930

※金額は端数を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合があります。

財務諸表の附属明細書等については、神戸大学のホームページをご覧ください。

(<http://www.kobe-u.ac.jp/info/public-info/disclosure/law22/zaimu.html>)

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
負債の部				
I 固定負債	44,002	54,868	59,758	4,890
資産見返負債	29,769	31,870	33,220	1,350
資産見返運営費交付金等	6,497	7,077	9,099	2,021
資産見返施設費	6	6	5	△ 0
資産見返補助金等	1,312	2,331	2,077	△ 254
資産見返寄附金	2,965	2,990	3,136	146
資産見返物品受贈額	18,574	18,442	18,309	△ 133
建設仮勘定見返運営費交付金等	94	349	235	△ 114
建設仮勘定見返施設費	228	636	269	△ 367
建設仮勘定見返補助金等	18	-	-	-
建設仮勘定見返寄附金	40	-	52	52
その他の資産見返負債	33	39	37	△ 2
長期寄附金債務	4	4	3	△ 0
国立大学財務・経営センター債務負担金	9,720	8,563	7,433	△ 1,130
長期借入金	3,278	11,540	15,513	3,974
退職給付引当金	268	303	343	39
資産除却債務	84	21	22	0
長期未払金	878	2,568	3,224	657
II 流動負債	20,567	27,511	23,222	△ 4,289
運営費交付金債務	1,821	3,499	858	△ 2,640
預り補助金等	10	-	0	0
寄附金債務	5,994	6,029	5,760	△ 269
前受受託研究費等	903	832	842	10
前受受託事業費等	141	56	55	△ 1
前受金	149	300	262	△ 39
預り科学研究費補助金等	323	472	413	△ 60
預り金	547	503	461	△ 42
一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金	1,341	1,158	1,130	△ 28
一年以内返済予定長期借入金	230	475	1,024	549
未払金	8,268	13,290	11,423	△ 1,867
未払費用	571	602	623	21
未払消費税等	-	-	65	65
賞与引当金	271	295	305	11
その他流動負債	-	-	0	0
負債合計	64,569	82,379	82,980	600
純資産の部				
I 資本金	121,839	121,770	121,770	-
政府出資金	121,839	121,770	121,770	-
II 資本剰余金	5,260	6,174	5,575	△ 599
資本剰余金	32,670	36,297	38,509	2,212
損益外減価償却累計額 (△)	△ 27,399	△ 30,118	△ 32,929	△ 2,811
損益外減損損失累計額 (△)	△ 5	△ 1	△ 1	△ 0
損益外利息費用累計額 (△)	△ 6	△ 4	△ 5	△ 0
III 利益剰余金(繰越欠損金)	5,309	4,649	3,718	△ 931
前中期目標期間繰越積立金	1,451	1,451	1,451	△ 0
大学運営改善積立金	732	133	34	△ 98
積立金(前期繰越欠損金)	2,408	3,057	3,057	0
当期末処分利益(又は当期末処理損失)	718	8	△ 825	△ 833
(うち当期繰越利益又は当期繰越損失)	(718)	(8)	(△ 825)	(△ 833)
純資産合計	132,408	132,593	131,063	△ 1,530
負債・純資産合計	196,977	214,972	214,042	△ 930

損益計算書

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
経常費用				
業務費	64,480	64,226	69,472	5,247
教育経費	3,502	3,185	3,118	△ 66
研究経費	4,552	4,365	4,350	△ 15
診療経費	17,673	18,476	20,656	2,180
材料費	10,561	10,583	11,509	926
委託費	1,702	1,820	1,842	22
設備関係費	3,623	3,793	5,387	1,594
研修費	3	2	1	△ 1
経費	1,784	2,278	1,917	△ 361
教育研究支援経費	949	1,166	1,189	24
受託研究費	3,112	2,919	2,973	54
受託事業費	532	651	699	48
役員人件費	308	155	239	83
教員人件費	17,754	16,811	19,125	2,314
常勤教員給与	16,852	15,960	18,264	2,304
非常勤教員給与	902	850	861	10
職員人件費	16,098	16,498	17,125	626
常勤職員給与	11,949	12,185	12,570	385
非常勤職員給与	4,149	4,313	4,555	242
一般管理費	1,584	1,812	1,950	138
財務費用	310	298	370	72
支払利息	307	298	370	72
その他財務費用	3	-	-	-
雑損	11	9	20	11
経常費用計	66,384	66,345	71,813	5,468
経常収益				
運営費交付金収益	19,073	18,090	20,962	2,872
授業料収益	8,371	8,319	8,376	57
入学金収益	1,276	1,265	1,271	7
検定料収益	313	304	305	1
附属病院収益	28,165	28,024	29,526	1,502
受託研究等収益	3,086	2,978	2,975	△ 3
国及び地方公共団体からの受託研究等収益	589	684	590	△ 94
国及び地方公共団体以外からの受託研究等収益	2,498	2,295	2,385	91
受託事業等収益	545	652	675	23
国及び地方公共団体からの受託事業等収益	240	246	318	72
国及び地方公共団体以外からの受託事業等収益	305	406	357	△ 49
補助金等収益	1,456	1,528	1,321	△ 207
施設費収益	319	229	33	△ 196
寄附金収益	1,801	1,944	2,271	327
資産見返負債戻入	1,455	1,630	1,765	135
資産見返運営費交付金等戻入	494	560	626	66
資産見返施設費戻入	0	0	0	△ 0
資産見返補助金等戻入	337	393	470	77
資産見返寄附金戻入	546	544	535	△ 9
資産見返物品受贈額戻入	77	132	133	0
財務収益	15	24	29	5
受取利息	6	10	13	4
有価証券利息	10	11	15	5
その他の財務収益	-	4	0	△ 3
雑益	1,234	1,186	1,413	227
研究関連収入	721	664	811	147
財産貸付料収益	83	87	108	20
宿舍貸付料収益	77	75	82	8
寄宿料収益	58	96	124	29
その他雑益	295	264	288	23
経常収益計	67,109	66,174	70,924	4,750
経常利益（又は経常損失）	725	△ 171	△ 888	△ 718

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
臨時損失	132	128	79	△ 50
固定資産除却損	85	107	65	△ 42
固定資産売却損	-	12	-	△ 12
損害賠償金及び和解金	-	9	14	5
過年度返還費用	46	-	-	-
臨時利益	36	58	107	49
資産見返運営費交付金等戻入	3	2	14	13
資産見返補助金戻入	2	0	0	0
資産見返寄附金戻入	17	29	32	3
資産見返物品受贈額戻入	0	0	0	0
施設費収益	7	4	15	11
徴収不能引当金戻入	6	-	9	9
受取保険金	-	23	37	14
当期純利益（当期純損失）	629	△ 241	△ 859	△ 619
目的積立金取崩額	89	249	35	△ 214
当期総利益（当期総損失）	718	8	△ 825	△ 833

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	6,098	6,862	4,513	△ 2,349
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 23,252	△ 23,874	△ 25,058	△ 1,184
人件費支出	△ 35,053	△ 35,137	△ 36,682	△ 1,545
その他の業務支出	△ 1,879	△ 1,765	△ 1,810	△ 45
運営費交付金収入	20,264	20,947	20,720	△ 227
授業料収入	7,905	7,889	7,844	△ 46
入学金収入	1,243	1,262	1,225	△ 36
検定料収入	313	304	305	1
附属病院収入	28,008	27,680	29,335	1,655
受託研究等収入	2,725	2,816	3,147	331
受託事業等収入	574	520	602	83
補助金等収入	1,841	2,802	1,421	△ 1,381
寄附金収入	2,016	1,910	1,970	60
その他の業務収入	1,393	1,296	1,493	197
預り科学研究費補助金等の増減額	-	213	△ 1	△ 213
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,180	△ 13,621	△ 6,775	6,846
定期預金等の預入による支出	△ 24,450	△ 25,100	△ 30,300	△ 5,200
定期預金等の払戻による収入	24,300	24,400	31,700	7,300
有価証券の取得による支出	△ 20,400	△ 35,021	△ 28,011	7,010
有価証券の償還による収入	19,900	30,700	31,100	400
有形固定資産の取得による支出	△ 5,807	△ 12,272	△ 13,182	△ 909
無形固定資産の取得による支出	△ 66	△ 151	△ 123	28
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	0	104	-	△ 104
施設費による収入	2,323	3,749	2,004	△ 1,745
利息及び配当金の受取額	20	17	37	20
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 704	6,593	2,059	△ 4,535
リース債務の返済による支出	△ 992	△ 572	△ 930	△ 358
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△ 1,597	△ 1,341	△ 1,158	183
長期借入金の返済による支出	△ 165	△ 232	△ 475	△ 243
長期借入金の借入による収入	2,362	8,738	4,998	△ 3,741
利息の支払額	△ 312	△ 303	△ 376	△ 73
IV 資金増加額（又は減少額）	1,214	△ 469	△ 204	265
V 資金期首残高	1,091	2,305	1,837	△ 469
VI 資金期末残高	2,305	1,837	1,633	△ 204

国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
I 業務費用	21,714	21,704	25,084	3,381
(1) 損益計算書上の費用	66,516	66,473	71,891	5,418
業務費	64,480	64,226	69,472	5,247
一般管理費	1,584	1,812	1,950	138
財務費用	310	298	370	72
雑損	11	9	20	11
臨時損失	132	128	79	△ 50
(2) (控除) 自己収入等	△ 44,802	△ 44,769	△ 46,807	△ 2,038
授業料収益	△ 8,371	△ 8,319	△ 8,376	△ 57
入学金収益	△ 1,276	△ 1,265	△ 1,271	△ 7
検定料収益	△ 313	△ 304	△ 305	△ 1
附属病院収益	△ 28,165	△ 28,024	△ 29,526	△ 1,502
受託研究等収益	△ 3,086	△ 2,978	△ 2,975	3
受託事業等収益	△ 545	△ 652	△ 675	△ 23
寄附金収益	△ 1,801	△ 1,944	△ 2,271	△ 327
資産見返運営費交付金等戻入	△ 144	△ 141	△ 150	△ 9
資産見返寄附金戻入	△ 546	△ 544	△ 535	9
財務収益	△ 15	△ 24	△ 29	△ 5
財産貸付料収益	△ 83	△ 87	△ 108	△ 20
宿舍貸付料収益	△ 77	△ 75	△ 82	△ 8
寄宿料収益	△ 58	△ 96	△ 124	△ 29
その他の雑益	△ 295	△ 264	△ 288	△ 23
臨時利益	△ 26	△ 52	△ 90	△ 38
II 損益外減価償却等相当額	2,799	2,786	2,866	80
III 損益外減損損失相当額	0	-	-	-
IV 損益外利息費用相当額	2	2	0	△ 1
V 損益外除売却差額相当額	1	△ 19	1	20
VI 引当外賞与増加見積額	△ 134	132	75	△ 56
VII 引当外退職給付増加見積額	△ 731	△ 776	△ 1,396	△ 619
VIII 機会費用	769	885	545	△ 340
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	66	60	48	△ 12
政府出資の機会費用	703	804	497	△ 308
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	-	20	-	△ 20
IX 国立大学法人等業務実施コスト	24,420	24,713	27,176	2,463

※国立大学法人等の業務運営に関して最終的に国民（納税者）が負担するコストを示したものです。国民の皆様が国立大学法人等の業務を評価、判断しやすくするために作成しています。

附属病院・附属学校セグメント情報

附属病院セグメント情報

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
業務費用				
教育経費	76	72	86	14
研究経費	115	113	148	35
診療経費	17,673	18,476	20,656	2,180
受託研究費	323	435	563	128
受託事業費	140	181	203	23
人件費	12,052	12,364	12,886	522
一般管理費	227	305	354	49
財務費用	277	266	332	66
雑損	6	7	9	2
業務費用計	30,889	32,219	35,236	3,017
業務収益				
運営費交付金収益	2,514	2,831	3,129	298
附属病院収益	28,165	28,024	29,526	1,502
受託研究等収益	329	448	583	134
受託事業等収益	164	196	197	2
補助金等収益	101	115	123	8
施設費収益	1	10	2	△ 8
寄附金収益	144	174	224	50
資産見返負債戻入	211	217	277	61
雑益	101	107	130	23
業務収益計	31,730	32,121	34,191	2,070
業務損益	841	△ 98	△ 1,045	△ 947
帰属資産	28,723	40,079	42,279	2,201

附属学校セグメント情報

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年比較
業務費用				
教育経費	197	200	337	137
研究経費	0	1	0	△ 1
受託事業費	2	6	5	△ 1
人件費	1,249	1,310	1,239	△ 70
一般管理費	13	5	5	1
雑損	-	0	0	△ 0
業務費用計	1,462	1,521	1,587	66
業務収益				
運営費交付金収益	1,320	1,381	1,391	10
学生納付金収益	30	46	66	20
受託事業等収益	2	6	5	△ 1
施設費収益	-	57	0	△ 57
寄附金収益	65	-	76	76
資産見返負債戻入	31	32	49	17
雑益	3	1	3	3
業務収益計	1,451	1,523	1,591	68
業務損益	△ 11	1	4	3
帰属資産	10,277	10,197	10,993	796

決算報告書

【平成26年度】

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額
収入			
運営費交付金	21,636	23,498	1,862
施設整備費補助金	1,940	1,919	△ 21
補助金等収入	1,769	1,537	△ 231
国立大学財務・経営センター施設費交付金	78	78	-
自己収入	41,113	39,330	△ 1,784
授業料、入学料及び検定料収入	9,548	9,374	△ 174
附属病院収入	31,096	29,335	△ 1,762
雑収入	469	620	151
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,266	8,486	2,219
引当金取崩	-	322	322
長期借入金収入	4,998	4,998	-
貸付回収金	5	3	△ 2
目的積立金取崩	55	107	52
計	77,860	80,276	2,416
支出			
業務費	60,900	61,152	252
教育研究経費	30,151	31,706	1,555
診療経費	30,749	29,446	△ 1,303
施設整備費	7,015	6,994	△ 21
補助金等	1,769	1,537	△ 231
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,267	6,806	539
貸付金	4	3	△ 1
長期借入金償還金	1,905	1,899	△ 5
計	77,860	78,392	531
収入－支出	-	1,885	1,885

※決算報告書は、予算の執行状況を明らかにするために作成が義務付けられている書類です。基本的には現金主義のもと作成されるため、発生主義のもと作成される損益計算書とは数値が一致しません。

外部資金等の獲得状況

(単位：百万円)

区 分	平成24年度 受入額	平成25年度 受入額	平成26年度 受入額	前年比較 受入額
受託研究等	3,445	3,474	3,660	185
受託研究	2,241	2,207	2,285	78
共同研究	605	701	701	△ 1
受託事業	599	566	674	108
寄附金	2,016	1,910	1,964	54
科学研究費補助金等(直接経費相当額)	2,671	2,827	2,780	△ 46
科学研究費補助金(文部科学省)	2,297	2,459	2,467	9
厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)	308	302	275	△ 27
先進的産業技術創出事業費補助金(NEDO)	14	12	10	△ 1
環境研究総合推進費補助金(環境省)	6	6	18	12
建設技術研究開発費補助金(国土交通省)	5	11	10	△ 2
その他	40	37	-	△ 37
補助金等	1,796	2,922	1,537	△ 1,385
研究拠点形成費等補助金	375	278	53	△ 225
卓越した大学院拠点形成支援補助金(研究拠点形成費)	72	215	-	△ 215
グローバルCOEプログラム(研究拠点形成費)	303	-	-	-
先進的医療イノベーション人材養成事業	-	63	53	△ 10
大学改革推進等補助金	140	85	50	△ 35
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	30	-	-	-
大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成	23	-	-	-
大学病院における医師等の勤務環境改善のための人員の雇用	33	33	-	△ 33
大学病院人材養成機能強化事業	21	19	15	△ 4
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	15	16	16	0
情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業	18	17	18	2
その他の補助金	1,281	2,560	1,434	△ 1,125
国立大学法人設備整備費補助金	4	385	21	△ 364
国際化拠点整備事業費補助金	140	151	131	△ 21
科学技術戦略推進費補助金	87	-	-	-
科学技術人材育成費補助金	107	100	194	94
国宝重要文化財等保存整備費補助金	76	58	-	△ 58
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	14	10	12	2
政府開発援助国際化拠点整備事業費補助金	50	48	41	△ 7
先進的創造科学技術開発費補助金	-	87	34	△ 53
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	731	673	573	△ 100
若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金	27	7	-	△ 7
研究者海外派遣基金助成金	17	-	-	-
地域医療活性化センター整備支援事業補助金	-	800	-	△ 800
研究大学強化促進費補助金	-	200	200	-
災害拠点病院設備整備事業補助金	-	12	-	△ 12
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	-	-	43	43
DMATカー整備事業	-	-	19	19
国立大学改革強化推進補助金	-	-	59	59
シミュレーション実習機器等整備事業補助金	-	-	15	15
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金	-	-	30	30
その他	28	28	63	35
合 計	9,928	11,133	9,941	△ 1,192

財務報告書（ファイナンシャルレポート）は、過去に作成した報告書も含めて
神戸大学ホームページにてご覧いただくことができます。

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/public-info/financial/index.html>





発行：国立大学法人神戸大学財務部

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL078-803-5110 <http://www.kobe-u.ac.jp>

[平成26事業年度]

平成26年4月1日～平成27年3月31日